

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 791

事業名	水交会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	水産振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 37 - 3013			項	水産業費・3項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	水産業振興費・2目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり			
	まちづくりの目標	ふやさなか 食づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	食づくりの源である豊穡の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)				
		南あわじ市水交会(南あわじ市内の福良、南淡、沼島、湊、丸山、阿那賀の6漁業協同組合の組合長)			構成人数(人) 6	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)				
		南あわじ市内の漁業協同組合及び南浦地域漁業の円滑な漁業操業の調整並びに事業推進と連絡調整を図ることで、南あわじ市の地場産業である漁業の一層の発展を目指す。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等)				
		1. 南あわじ市水交会会議の開催 2. 水産業振興事業の実施 3. 各種団体との漁業調整				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)				
	・構成員・・・6名(会長1名、副会長1名) ・事務局・・・会長の属する漁協					
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()		
補助金算出根拠	旧西淡町では666千円、旧南淡町では300千円の補助を行っていた。町の合併に伴い水交会も統合され、新市での予算は966千円となった。					
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併前は西淡町水交会と南淡町水交会が存在していた。新市設立に伴い、水交会も合併することとなり、現在の南あわじ市水交会が発足した。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	966	966	821	771
	水交会補助金	966	966	821	771
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	966	966	821	771
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	966	966	821	771
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	161.0	161.0	136.8	128.5
受益者人数(764)一人当り経費(千円)	1.3	1.3	1.1	1.0	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 財政緊迫の状況下で、経費削減の努力は必要であるが、当補助金については適切な経費で有意義な活動がなされているように思われる。現状の予算でさらに成果を上げるよう努力していかなければならないと考える。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 漁業振興を図る上で、各漁協の組合長の連絡調整の場となる水交会は不可欠な存在である。各漁協も負担金を拠出してはいるが金額は少なく、水交会の運営は当補助金に依るところが大きい。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 当市の地域活性化を考えた場合、地場産業である漁業の振興は欠かせないものである。南あわじ市水交会は水産のプロである各漁協の組合長で構成され、専ら当市の水産業の発展を目指し活動しており、その公共性・必要性は高い。従って、当補助金の必要性も高いと考えられる。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	市内各漁協のより強固な団結と、当市の水産業の振興を図るために継続していかねばならないと考える。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 当補助金の交付を中止した場合、漁協間の連絡調整の場が激減してしまう。今後の南あわじ市の水産業の発展において漁協の連結は不可欠の要素であり、当補助金の廃止は考えがたい。また、廃止によるプラス面は考えられない。	